

# もう一度「ふるさと」へ



# まていな希望プラン

避難に当たって村民の皆さんへ… 村長より 2011.6.22



ご苦労とご不便をおかけします。  
早く戻れるようにします。

毎日新聞 2011.5.16

7

避難先でも充実した  
同じ行政サービスを受けられるよう  
“2つの住民票”的なことを  
国に提案しています。



避難先の自治体への財政支援も含めて  
村から提案したものが実現に向けて進んでいます。



毎日新聞 2011.6.5  
福島民報 2011.6.5

8

避難解除の際はこれまで取り組んできた事業が  
すぐに進められるよう、国や県に働きかけています。



文科省の原子力損害賠償紛争審査会で  
損害について話しました。 大分合同新聞 2011.6.1

- 1 公民館の建て替え事業
- 2 草野小学校の大規模改修事業
- 3 大谷地住宅の建て替え
- 4 6次産業の取り組みを新たな産業政策で
- 5 水田の水路整備事業
- 6 村道などの生活道路の整備

9

いいたて「まていな復興会議」を立ち上げます。

これからの飯館村をどうしていくか。次代を担う若者を始め、  
村ゆかりの方々や専門家など 村外の応援者とも一緒になって  
「まていな復興プラン」を作りあげていきます。



村長 菅野典雄

Original Message Iitate Village. 2011.6.22



# 1

## 避難生活は2年くらいにしたい。



「避難生活はいつまで続くのか？」  
「先が見えないので不安…」との声。  
私としては2年くらいで順次  
村に戻れるようしっかり努力します。

# 2

## 村民の健康管理に力を入れます。



コミュニティバス  
運行します！

- 1 将来を担う子どもたちを中心に健康手帳  
「まていな からだ」を発行します。

親と子の生活と健康記録<就学前・就学後高校生まで>



- 2 村民のみなさん全員を対象とした  
健康調査を長期にわたってすすめます。
- 3 仮設住宅等の避難先にコミュニティバスを運行し  
通院や買物ができるようにします。

# 3

## 土壌の除染を積極的に 進めていきます。

国家プロジェクトとして強力に推し進めます。



表土の掘り取りによる除染実験＝八和木 2011.6.13

ふるさとに戻るには  
土壌からの放射性物質の  
除去が欠かせません。  
早期の帰村実現に向け取り組みます。

森野農が和とともにヒマワリの畑をまきました  
福島県報 2011.5.29

# 4

## 村民の絆を深める 「ふるさとコミュニティ事業」を 実施していきます。



- 1 敬老会は今年も行います。  
大切な方々です。今年もお祝いをします。
- 2 新たなコミュニティ事業費を用意しました。  
今はいるいるなとこに避難していても、繋がっていきましょう。
- 3 村内外の見学ツアーを企画します。  
この機会に他地域を見て、また村内も見直して学びましょう。
- 4 避難先との交流事業も進めます。  
福島市をはじめお世話になっている市町村と交流します。
- 5 仮設住宅ごとコミュニティ担当職員をおきます。  
小さな行政区と捉え安心して生活できるようにします。
- 6 村の情報を発信し続けます。  
いいいたてコミュニティサイト、コミュニティペーパーで  
きめ細やかな情報発信をお届けします

# 5

## 村民の皆さんの 仕事づくりを進めます。



防犯パトロールの他、避難先自治体や  
県の支援をいただきながら  
皆さんの雇用確保に努めます。

飯館全村まもり隊はすでにしっかり活躍しています。

# 6

## 次代を担う人づくりに努めます。

- 1 小学校6年生の「沖縄の旅」は実施します。  
転校した友だちにも再会できますように。
- 2 平成26年の成人式は沢田知可子さんを  
迎えて村に戻って実施します。  
平成20年度卒業生が沢田さんに約束を取り付けました。
- 3 次代を担う皆さんの国内外における  
研修事業を行います。  
世界に学んで未来を作る。中学生のドイツ研修ツアーを募集します。  
若人の研修も…。



- 4 村の将来を語り合う子どもたちによる  
「まてい子ども会議」を開催します。  
考えて、発表して、練り上げる。子どもたちは未来のリーダー。